

1 学校教育目標

生徒一人一人が生き生きと輝き、心身ともに健康で
やさしさと逞しさと自立心を持ち、根気強く頑張る生徒の育成

めざす生徒像

- 思いやりの心を持ち、自ら考え、正しく判断し、行動する生徒
- 規律ある学びの場で、自ら学び、深く考え、探究する生徒
- たくましい活力を持ち、健康と安全に心がけ、運動に取り組む生徒

めざす教師像

- 専門職としての使命感を持ち、力量を高め、わかる授業を創造する教師
- 組織の一員として他と協働し、教育活動に参画する教師
- 生徒理解を基本とし、特別支援教育の視点をもった教師
- 人権尊重の精神を基本として、どの生徒にも公平に接し、信頼される教師

めざす学校像

- 明るく活気にあふれ、生徒・教師が生き生きと安心して生活できる学校
- 生徒相互、生徒と教師が互いに信頼し合い、自己有用感を高めることができる学校
- 清潔で美しく、落ち着いた環境で清新な生活ができる学校
- 一人一人の人権を尊重し、差別やいじめのない学校

2 本年度の学校経営の重点

- (1) 言語活動を充実させ、ICT を有効に活用し、協同活動を取り入れた学習指導の工夫・改善に努める。
- (2) 生徒の心の内面に根ざした指導を行い、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。
- (3) すべての生徒が生き生きと学ぶ教室実現のため、授業づくり・生徒指導・環境整備を推進する。
- (4) 家庭や地域、小学校との連携を通して沖田中学校区で子どもの生きる力を育成する。

3 目標達成のための具体的方策

学力向上に関する取り組み

学習方法の工夫・改善に努める

- 言語活動を授業の中に位置づけ、実践する
 - ・ 話し合い活動
 - ・ ノート指導
 - ・ 「まとめ」と「振り返り」
- 絶えず指導方法を検証し、工夫・改善に努める
 - ・ 教材研究
 - ・ 発問計画
 - ・ 板書計画
 - ・ 机間指導
 - ・ 少人数指導
 - ・ ユニバーサルデザインの授業づくり
- 指導と評価の一体化
- 個に応じた指導を推進する
 - ・ GITA 端末の活用
 - ・ 北九州ひまわり教室
- 家庭学習習慣の定着

体力向上に関する取り組み

生涯を通した健康な生活を支える、体力の向上を図る

- 保健体育の授業を通して、基礎体力の向上を図る
 - ・ 教材研究
 - ・ 補強運動
- 生徒が自分の生涯を健康で過ごすための知識を身につけさせ、健康増進の実践力を養う
 - ・ 各教科における指導
 - ・ 食育指導
 - ・ 性教育
 - ・ スクール救命士講習
 - ・ 防災減災教育
 - ・ 薬物乱用防止教室 等

心の育ちに関する取り組み

生徒の内面に根ざした指導、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成

- いじめ等の早期発見につながる教育相談活動を推進する。
 - ・ いじめに関するアンケート
 - ・ 心のアンケート ・ 心の健康観察
 - ・ 教育相談
- 生徒の対話力と人間関係力を磨く。
 - ・ 子どもつながりプログラム
 - ・ 特別活動と総合的な学習の時間の充実
 - ・ キャリア教育
 - ・ SDGs 教育
- 生徒の心を耕す道徳教育を推進する。
 - ・ 「考え議論する」道徳教育
- 本校校区の良さに気づかせ、自分の住む地域に誇りをもつ心情を育む。
 - ・ まちづくり協議会行事等への参画
 - ・ 地域学校協働活動の推進
- 自発的・自治的な実践活動を通じて、主体的な態度を育成する。
 - ・ 生徒会活動
 - ・ 校則見直しの取組

学校組織と研修に関する取り組み

校内研修や各種団体との連携を通して、生徒を支援する。

- 校内の各種委員会を通して、生徒を支援する。
 - ・ 生徒指導委員会
 - ・ 校内いじめ問題対策委員会
 - ・ 特別支援教育推進委員会
- 生徒の変化に気づく教職員の感性や、人権感覚を磨く校内研修の充実を図る。
 - ・ 人権研修
 - ・ 生徒理解研修
 - ・ 学力・体力向上研修
 - ・ 若年教員研修
- 学校の取組を発信し、理解と協力を得る。
 - ・ 校長通信等の各種通信
 - ・ 学校ホームページ
 - ・ 学校運営協議会
 - ・ PTA 理事会等
- 小学校との連携を通して、生徒の生きる力を育む。
 - ・ 中学校区ミーティング（生徒会）
 - ・ 小中合同研修会（教職員）

生徒の学びと教職員の教育活動を支える体制の充実

- 朝自習を基盤にした、言語活動を推進する。（「総合的な学習の時間」を分割した学習）
 - ・ 朝の 10 分間読書
 - ・ ビブリオバトルの取組
 - ・ 調べ学習や話し合い活動を通じた言語活動
- 生徒の意欲を高める、安全で快適な教育環境を整える。
 - ・ 学級掲示物の精選と工夫
 - ・ 学年掲示物の整備
 - ・ 教室内外の整理整頓、美化活動
 - ・ GIGA 端末をはじめとする ICT 機器の整備

業務改善

- すべての教職員が学校運営に参画し、連携、分担して校務を担う体制を整える。
 - ・ 教員、事務職員、事務補助員、一般事務員(校務員)、教育活動支援員、学校図書館職員の連携
 - ・ 心理や福祉の専門家との連携 (SC、SSW)
 - ・ 外部の関係機関との連携
教育支援室、不登校等支援センター、子ども総合センター、警察機関
放課後等デイサービス、フリースクール等
- 行事計画書等の次年度への確実な引き継ぎ
 - ・ 事後の実行委員会等の充実
 - ・ 標準化したフォルダ体形に基づく文書管理ルールの徹底